

科目名	使用教科書・副教材等	単位数	学科・学年
数学「数学Ⅰ」	新編 数学Ⅰ(数研出版)	3	工業科・第1学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 数と式, 2次関数, 図形と計量, データの分析について理解し, 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 2 事象を数学的に考察する能力を培い, 数学のよさを認識でき, それらを活用できるようにする。
---------	---

2 学習計画等

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查
1学期	第1章 数と式 第1節 式の計算 第2節 実数 第3節 1次不等式 第2章 集合と命題	4	・数を実数まで拡張する意義を理解し, 簡単な無理数の四則計算をすることができる。	中間
		5	・集合と命題に関する基本的な概念を理解することができる。	
		6	・二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めることができる。	期末
		7	・不等式の解の意味や不等式の性質について理解し, 1次不等式の解を求めることができる。	
2学期	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次関数の値の変化 第3節 2次方程式と2次不等式 第4章 図形と計量 第1節 三角比 第2節 三角形への応用	8	・2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解している。	中間
		9	・2次関数の最大値や最小値を求めることができる。	
		10	・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。	期末
		11	・2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。	
12	・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解することができる。			
3学期	第5章 データの分析	1	・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し, 鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解することができる。	学年末
		2	・正弦定理や余弦定理を活用し, 外接円の半径, 辺の長さや角の大きさを求めることができる。	
		3	・分散, 標準偏差, 散布図及び相関係数の意味やその使い方を理解することができる。	

3 評価規準及び評価方法

(1) 評価規準

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに, 事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学を活用して事象を論理的に考察する力, 事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度, 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度, 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり, 評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

(2) 評価方法

	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
方法	定期考査と小テストで評価する。	定期考査と小テストで評価する。	小テスト, 家庭学習課題, 授業に取り組む態度で評価する。

4 確かな学力を身に付けるためのアドバイス

<ul style="list-style-type: none"> ・授業では教科書を中心に, 教科書傍用の問題集「Study-Up ノート 数学Ⅰ」も用いて学習します。 ・長期休業中の課題などに丁寧に取り組み, 学習内容の定着に努めよう。 ・間違えた問題が解けるように繰り返し練習し, 基礎学力を確実に身に付けよう。
